

県北建設 今昔フォトギャラリー 記録No.9 国道349号

～人にも自然にもやさしい切盛バランスを考慮した道路整備～

昭和10年頃の姿（戦前）

①



②



平成30年の姿



【当時の写真の概要等】

写真①、②はともに、川俣小野新町線（現在の国道349号）の川俣町大綱木地内における道路改良工事の際の写真です。

写真①では、作業員が土砂などを運んでいるようすです。また写真②は、道路の路体部分を整形している状況であると思われます。

【当時の写真より気づいた点】

- 土砂は人力運搬だったため、なるべく少ない運搬になるように、現場で切土と盛土のバランスを考え抜いて作業していたと思われる（写真①）。
- 写真①より、現代の工事と同様に、丁張り（工事の基準となる位置・高さの目印となるもの）を掛けて工事を実施していたことがわかる。
- この現場では鍬を用いて人力で切土部分を整形していることがわかる（写真②）。